100年、飛翔のキセキ

次代を見据え、時代に挑み続けたこの軌跡を、
次の奇跡につなげて。
100年先の大空へ、
新たなる挑戦はすでに始まっています。

本学園は、設立者・校主 本庄京三郎、校長・工学博士 片岡安と12人の創設理事などが開校に向け尽力し、1922（大正11）年9月7日、時の大阪府知事 池松時和氏から設置認可を受け創設した関西工学専修学校がそもそもの始まりです。

時代と地域の要請に応え、中堅技術者育成を目的に開校した関西工学専修学校は着実にその役目を果たし、多数の卒業生が地域で活躍。それを受け技術者教育を看板としたさまざまな学校を併設する技術系総合学園として展開し、やがて高等教育をも担うまでに発展しました。現在では、大阪工業大学・大学院、摂南大学・大学院、広島国際大学・大学院、常翔学園中学校・高等学校、常翔啓光学園中学校・高等学校を設置する総合学園へと成長を遂げ、約2万5千人の学生・生徒が学んでおり、延べ約31万人の卒業生が社会の各分野で活躍しています。

2022年、学園は創立100周年を迎えます。永い歳月の中、常に「変わらない信念」を抱き続け、そして、時代の要請に応え「変わり続ける」ことで、常翔の名の如く飛翔100年という大きな節目を迎えます。

片岡安初代校長による創設期生徒へのメッセージ

私が言う「立派な人」とは進でも尊敬する各方面より見て得がたい、頼もしい人となって欲しいのであります：これが国家社会の要求する人であり、家族友人も要求するところの人であります。

かくのごとく人となるには如何にすればよいかと申しますに、そもそも人は努力、心掛けによって全知全能に近いものになりうるのであります。人によってはその能力を伸ばし得るものと伸ばし得ないものとがあります。ある程度までしか伸び得ぬ人もありますが、すべての困難を排して近づかんとする真剣味のある人はその目的を達することができるのであります。もっと、一歩一歩を踏んしめて山に登るようなものであります、これは人生の極致であります。このような人は野心大望を持たなくても周囲より尊敬され指導者となり得る人であります。人を指導する人になり得ることも少なくともその周囲の人々の指導者となり、明星となり得るのであります。

かかる人はやがて大いなる星となり得ると信ずるのであります。（中略）諸君も一歩一歩緊張味を持って自己のベストを尽くしてやっていれば、やがて、向上発展の途が開けて来るのであります。最初から五段も六段も跳び上がるということを期待するのは間違いであります。こうして終局において高いところから大きい範囲を支配し得るに至るのであります。

―関西高等工学校卒業式訓示から―

本庄 京三郎
ほんじょう きょうざぶろう
設立者・校主
1868年岡山県生まれ。1891年東京法学院（現 中央大学）卒業。日本教育の開創切実性ふかく安らかな教育環境の開発をはじめ多くの企業経営に携わるなど、新しい街づくりを進めた実業家でした。

片岡 安
かたおか やすし
初代校長・理事長
1876年石川県生まれ。1897年東京帝国大学工科大学（現 東京大学）卒業。大阪市役所公会堂等は1Kに数多くの建築設計に関わる。日本建築協会、大阪工業会理事長、京都帝国大学講師などを務めた都市計画のパイオニアでした。

学校創設の時代背景

時代は技術者育成を急がせた。

大正期から昭和初期の大阪市は、これまで築いてきた商工業都市としての基盤に加え、市域の大幅な拡張もあって人口や経済規模において東京市を凌駕し、日本で最も繁栄する都市へと急速な発展を遂げました。

都市には産業の根幹を担う生産拠点ができ、人々が流入してきました。そのようななかで工場では、ものづくりの組織を指揮するとともに自らものづくりを実践できる者が、また都市基盤整備事業においては、設計から現場での監督までもこなせる者が求められていました。しかし、産業界の急速な近代化に対応できる技術者の数が不足し、即戦力となる技術者の養成が急がれました。

当時、わが国の工業教育に対する認識は浅く、特に商業中心の大阪での工業教育機関は微々たるものに過ぎませんでした。このような時代に、将来、工業技術者の必要な時代が必ず到来することを察知し、私立学校の経営では最も難しいといわれる工業教育に、あえて踏み切った関係者のパイオニア精神は注目に値します。

急速な発展により、産業を支え、あるいは都市としての基盤整備を担う技術者が絶対的に不足。

立派な人、明星となれ、そして大いなる星に向かえ。そのために、自らの一歩一歩に緊張味を持ってベストを尽くせ！

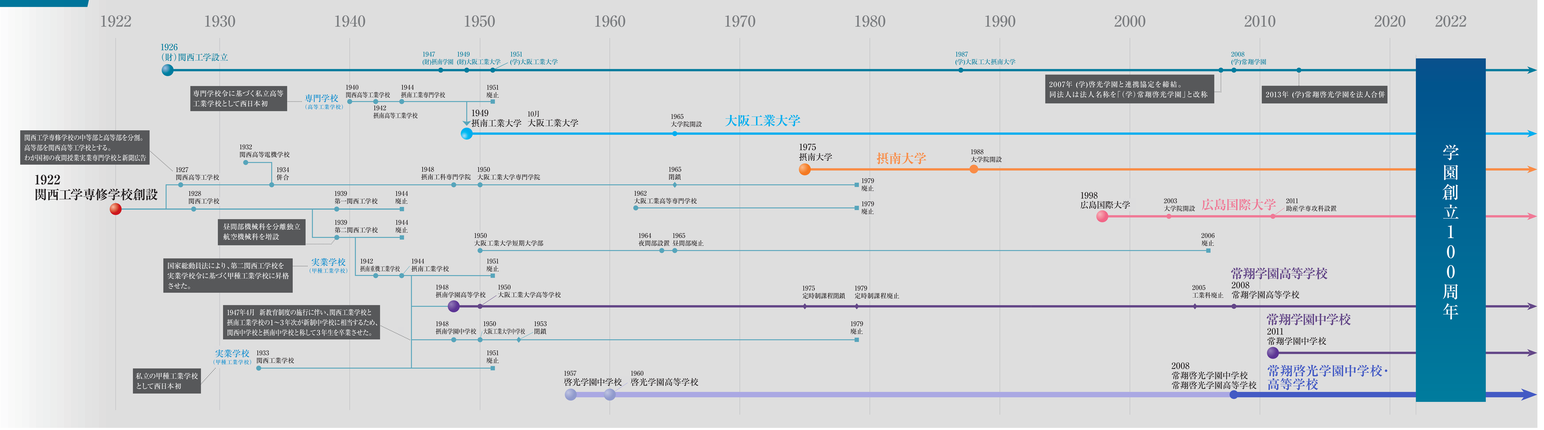
学校法人常翔学園は、2022年10月30日に創立100周年を迎えます。

常翔啓光学園中学校・高等学校

学園のあゆみ Since1922

建学の精神

世のため、人のため、地域のため、
理論に裏付けられた実践的技術をもち、
現場で活躍できる
専門職業人を育成する。



常翔啓光学園中学校・高等学校history Since1957

熱心であれ 力強くあれ 優しくあれ 未来社会を生き抜く人材を育成

常翔啓光学園中学校・高等学校は、学校法人啓光学園が啓光学園中学校（1957年）、同高等学校（1960年）として開校。2007年に本学園と連携協定を締結（2013年に法人合併）し、2008（平成20）年に現在の校名に改称しました。「Always5.0」のスローガンを掲げ、すべての教育にSociety5.0時代に適応した教育を展開。来るべき未来社会を生き抜く人材を育成するとともに、充実した進学指導により高いレベルの進学校を目指しています。

■ 教育の理念

ユニバーサル社会を創造する人間の自覚と能力を育み、社会に貢献できる人間を育成する。

Message from the Principal 校長 山田（やまだ） 長正（ながまさ）

2050年の世界で活躍する人材の育成

常翔啓光学園中学校・高等学校は、「学力の向上」と「人間力の基礎の育成」を教育の方針とし、2050年の世界で活躍する人材を育成します。2050年の世界がどのようであるかはわかりませんが、今の中高生が40歳代となり、社会の中心的な役割を果たしていることは間違いありません。現在よりもはるかにグローバル化が進み、新しい職業が数多く生まれている社会で自走し貢献する人材の基礎基本を、本校で身に付けてもらいます。身に付けてほしい力を9つに集約し、K'GOALS として見える化して、活躍の領域を広げます。そして日本に限らず世界に飛び出し、人々の融和をはかれるグローバルマインドを持ち、主体性と協調性を兼ね備えた人材を育成するよう、常に先を見て行動する学校として進化し続けます。

中学校開校当時

1960年 第1回体育祭

高校1期生の夏期受験合宿（淡路島）

1963年 高校第1回卒業式

1982年頃 教室風景

2005年 高校ラグビー部 全国4連覇

2007年 (学)啓光学園と連携協定締結

2009年 女子生徒も加わった入学式

クエストカップ2014全国大会でグランプリ(中学)

2016年頃 情操教育「茶道」体験（中学）

2020年 新聞記事から学ぶ「SDGs教室」

1957 4月 啓光学園中学校開校
1960 4月 啓光学園高等学校開校
1975 4月 クリア・サビエンスコース制開始（高校）
1980 2月 中学夜間制度廃止 步訓練（50m）始まる
1996 7月 徒歩帰同南市で海洋訓練始まる（中学校）
2000 7月 学校初の海外研修旅行（高校）
2001 4月 訓練会開始まる（オリエンテーション合宿（中学校）、KCアドバンスキャンプ（高校）として現在に至る）
2003 4月 サビエンスコース、クリアコースを特進コース、標準コースに変更（高校）
2004 7月 高知県で四万十川修学旅行始まる（中学校）
2005 1月 第19回全国高等学校ラグビーフットボール大会で戸塚吉印の活躍
2007 11月 学校法人常翔学園と学校法人啓光学園が連携協定締結
2008 4月 常翔啓光学園中学校、常翔啓光学園高等学校に改称
2009 4月 男女共学に移行 標準コース名金字コースに変更（高校）
2011 4月 男女共学に移行
2013 4月 学校法人常翔学園と 学校法人常翔啓光学園が法人合併 学校法人常翔学園の設置校となる
2018 4月 特進（選抜）コースと特進コースを特進選抜コースと未来探求コースに再編（中学校）
2022 10月 学園創立100周年
1961 1月 旧6号館竣工
1963 10月 旧体育館・啓光会館竣工祝別式
1967 5月 50mプール完成
1974 3月 旧2号館竣工
1977 3月 旧3号館竣工
1985 4月 旧第一体育館、旧6号館竣工
1988 同窓会館完成
1991 7月 全教室に空調機設置
1992 4月 熱感の建完成
1999 3月 LLC教室設置
2011 3月 新1号館竣工
2012 7月 新2号館竣工
2013 2月 北門（旧正門）完成 11月 グラウンド改修工事等竣工
2014 5月 常翔館史館開館
2017 4月 常翔啓光クライミングウォール竣工 7月 3号館（ミューズギャラリー）竣工

1957年頃（開校当時）の校舎

1982年 校舎と周辺の様子

黙想の庭（1992年完成）

2007年 校舎と周辺の様子

新1号館（2011年竣工）

旧校舎（右）と並ぶ新校舎

新2号館（2012年竣工）

北門［旧正門］（2013年完成）

常翔啓光クライミングウォール（2017年竣工）

3号館［ミューズギャラリー］（2017年竣工）

2017年 校舎と周辺の様子

社会の動き

1960 新日米安全保障条約締結
1961 東西ベルリンの境界に壁
1964 東京五輪開催 東海道新幹線開業
1969 アポロ11号が月面着陸成功（人類初）
1970 大阪万博開催
1973 第4次中東戦争勃発で第1次石油ショック
1975 ベトナム戦争終結
1976 ロッキード事件で田中角栄前首相逮捕
1979 国公立大学の共通1次学力試験を初実施
1983 東京ディズニーランド開園
1985 群馬県御巣鷹山に日航機墜落
1986 チェルノブイリ原発事故
1989 元号が平成に改元 東西冷戦の終結
1990 第1回大学入試センター試験を実施
1992 学校週5日制開始
1994 関西国際空港開港
1995 阪神・淡路大震災 東京地下鉄サリン事件
1998 長野冬至五輪開催 民主党の結党
2001 9・11米国同時多発テロ事件発生
2008 リーマン・ショックで世界同時不況に
2009 裁判員制度がスタート 民主党政権の誕生
2011 東日本大震災、福島第1原発事故
2015 「1億総活躍プラン」改正公職選挙法が成立
2018 大阪北部地震、台風21号で大きな被害 西日本豪雨で広島・岡山などに記録的大雨と被害
2019 元号が「令和」に改元 ラグビー日本代表ワールドカップ初 日本大会開催（アジア初）
2020 東京のIR誘致 新型コロナウイルス感染症がパンデミックに
2021 東京オリンピック・パラリンピック開催 東京オリンピック・パラリンピック開催 東京オリンピック・パラリンピック開催

学校法人常翔学園 JoshoGakuen

大阪工業大学 摂南大学 広島国際大学 常翔学園中学校・高等学校 常翔啓光学園中学校・高等学校